



本屋 旅の扉

第1回ブックフェア開催

期 間…1月23日(土)～2月7日(日) ※水曜定休
場 所…東愛知日産・豊橋下地店内

冬 紀 行

「人生は旅」の本100選

冬だから、少し変えてみたい。

冬だから、次(＝春)にしたいことを考えてみる。

一年で一番寒い時期に、あえて出かけてみたくなる

”人生は旅”の本を揃えてみました。

本のテーマ①

・人生にも冬がある——その後に春が来る。

本のテーマ②

・極寒の冬にあえて出かける。

本のテーマ③

・寒い冬を生き生きと過ごす、各地の人と暮らして文化を知る。

本のテーマ④

・冬だから屋根裏部屋でサボりたい!?

何か新しいことを始めるのは本来、春がふさわしいかもしれないけれど、寒くて動きたくない冬だからこそ

”しんと”自分の気持ちを確かめてみるのが出来るかもしれない。

だから寒くて凍えそうな冬に、あえて出かけてみたい——

東愛知日産「旅の扉」

「移動の楽しさ」を知ってもらいたくて、クルマ屋なのに本屋を始めちゃいました。

「カーディーラーがどうして本屋を？」そんな声が聞こえてきそうなので、さっそく疑問にお答えしていきます。

あらためまして、私たち東愛知日産は昨年9月25日、旅の専門書店「本屋 旅の扉」を、豊橋下地店内にオープンしました。ジャンルを旅に特化したのは、ワケがあります。私たちが日々扱うクルマの魅力は「好きなときに、行きたい場所に、自由に行ける」こと。つまり、クルマは「旅にピッタリな移動のツール」。そんな移動手段を提供しているカーディーラーだからこそ「旅や移動の魅力をもっと多くの人たちに伝えたい!」と、旅の専門書店を始めることにしたのです。

クルマと本は「見聞録」ですが、この新しい取り組みは決して思いつきで始めたものではありません。むしろ、カーディーラーによる旅の専門書店の開設は、必然だったとすら考えています。「若者のクルマ離れ」が叫ばれている今、私たちが率先して移動の楽しさを発信するべきだと思うからです。

私たちは物理的な移動を伴うものはもちろん、自分発見のような移動を伴わない行為も旅と捉えています。つまり、私たちにとっては、人生自体が旅。一口に旅の専門書といっても「趣味」「歴史・文化」「特定の街」などの王道的なカテゴリから「独り」を愉しむ」といった風変わったものまで、幅広く網羅しているのはそのため。独自の基準で品揃えにこだわるこんな本屋なら、未知の場所やまだ知らない新しい自分に、きっと出会えるはずです。

とりわけ、これまでがむしゃらに取り組んできた仕事や育児から解放され、生活が落ち着き始めた人たちは、人生において新しい場所や生き方を求める傾向にあるのではないのでしょうか? そんな人たちにこそ、私たちの選りすぐりの本を手にとってみてほしいのです。

昨今、本はネットで簡単に手に入ります。でも、自分でも気づかない潜在的な欲求を発見したり、それを満たすことまでは難しいと思います。一方、私たちの本屋は、ふとしたときに気軽に立ち寄り、ちょっとした「非日常」に遭遇し、体験できる場所になるはずです。さあ、私たちの本屋で、人生という名の旅に出かけてみませんか?

日産車ユーザーはもちろん、他車ユーザーや本屋のみご利用のお客様も大歓迎!!

HIGASHI AICHI NISSAN
TANPOPO VILLAGE

ここでしか出会うことの出来ない本がきっと見つかる
「タンポポヴィレッジ ブック」
ページをチェック!!



「本屋 旅の扉」は下地店でのみの営業となります

本屋 旅の扉



<http://www.tanpopo-village.jp/book/>

当サイトは、PC・スマートフォンでご覧いただけます。



タンポポヴィレッジの「ウェブパートナー」ページよりメルマガ購読をご登録。およびFacebook・Twitter・LINEのSNSにご登録いただくと、より情報をお届けいたします。登録は無料。ぜひご登録ください!!



東愛知日産「輪」を守る、築く、育む。

① 押し売りではなく、お客様が「買いたい」と思える理由と一緒に探し・悩み・考える「提案スタイル」の接客をいたします。
② 売りっぱなしにせず、購入後も忘れずにフォローを継続できるよう、社内専用の「カスタマーセンター」を導入いたします。
③ 買うときから次乗り換えまでの長い間、安心かつ楽しいカーライフを提供するパートナーシップ制度「クルマの輪」パートナーを導入いたします。

FREE 0120-117-139 TEL 0532-53-1171

本社・豊橋下地店 〒440-0083 愛知県豊橋市下地町字操穴43番地
営業時間 9:30～19:00 E-Mail: info@higashi-aichi-nissan.co.jp